

HILTI

TE 6-A36

日本語



1 文書について




1.1 本書について

- ご使用前に本書をすべてお読みください。このことは、安全な作業と問題のない取扱いのための前提条件となります。
- 本書および製品に記載されている安全上の注意と警告表示に注意してください。
- 取扱説明書は常に製品とともに保管し、他の人が使用する場合には、製品と取扱説明書を一緒にお渡しください。

1.2 記号の説明



1.2.1 警告表示

警告表示は製品の取扱いにおける危険について警告するものです。記号と組み合わせて以下の注意喚起語が使用されています：

	危険！ この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる危険性がある場合に注意を促すために使われます。
	警告事項！ この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる可能性がある場合に注意を促すために使われます。
	注意！ この表記は、軽傷あるいは物財の損傷が発生する可能性がある場合に使われます。


1.2.2 本書の記号

本書では、以下の記号が使用されています：

	使用前に取扱説明書をお読みください
	本製品を効率良く取り扱うための注意事項や役に立つ情報

1.2.3 図中の記号





図中では以下の記号が使用されています：

2	この数字は本取扱説明書冒頭にある該当図を示しています
3	付番は図中の作業手順の順序に対応していて、本文の作業手順とは一致しない場合があります
⑪	概要図には項目番号が付されていて、製品概要セクションの凡例の番号に対応しています
	この記号は、製品の取扱いの際に特に注意が必要なことを示しています。

1.3 製品により異なる記号

1.3.1 記号

以下の記号が使用されています：

	回転のみ
	回転 + 打撃(打撃穿孔)
	ハツリ作業
	チゼル角度調整

→	正逆回転機能
n ₀	無負荷回転数

1.4 製品情報

Hilti の製品はプロ仕様で製作されており、本体の使用、保守、修理を行うのは、認定を受けトレーニングされた人のみに限ります。これらの人は、遭遇し得る危険に関する情報を入手していなければなりません。製品およびアクセサリーの使用法を知らない者による誤使用、あるいは規定外の使用は危険です。

機種名および製造番号は銘板に表示されています。

- ▶ 製造番号を以下の表に書き写しておいてください。ヒルティ代理店やサービスセンターへお問い合わせの際には、製品データが必要になります。

製品データ

ロータリーハンマードリル	TE 6-A36
製品世代：	04
製造番号：	

1.5 適合宣言

当社は、単独の責任において本書で説明している製品が有効な基準と標準規格に適合していることを宣言します。適合宣言書の複写は本書の末尾にあります。

技術資料は本書の後続の頁に記載されています：

Hilti Entwicklungsgesellschaft mbH | Zulassung Geräte | Hiltistraße 6 | 86916 Kaufering, DE

2 安全

2.1 電動工具の一般安全注意事項

⚠ **警告事項！** 安全上の注意および指示事項をすべてお読みください。これらを守らないと、感電、火災および / または重傷事故の危険があります。

安全上の注意および指示事項が書かれた説明書はすべて大切に保管してください。

作業環境に関する安全

- ▶ 作業場はきれいに保ち、十分に明るくしてください。ちらかった暗い場所での作業は事故を起こす恐れがあります。
- ▶ 爆発の危険性のある環境(可燃性液体、ガスおよび粉じんのある場所) では電動工具を使用しないでください。電動工具から火花が飛散し、粉じんや揮発性ガスに引火する恐れがあります。
- ▶ 電動工具の使用時、子供や無関係者を作業場へ近づけないでください。作業中に気がそらされると、本体のコントロールを失ってしまう恐れがあります。

電気に関する安全注意事項

- ▶ 電動工具を雨や湿気から保護してください。電動工具に水が浸入すると、感電の危険が大きくなります。
- ▶ パイプ、ラジエーター、電子レンジ、冷蔵庫などのアースされた面に体の一部が触れないようにしてください。体が触れると感電の危険が大きくなります。

作業者に関する安全

- ▶ 電動工具を使用の際は、油断せずに十分注意し、常識をもった作業をおこなってください。疲れている場合、薬物、医薬品服用およびアルコール飲用による影響下にあ

る場合には電動工具を使用しないでください。電動工具使用中の一瞬の不注意が重傷の原因となることがあります。

- ▶ 作業中は不安定な姿勢をとらないでください。足元を安定させ、常にバランスを保つようにしてください。これにより、万一電動工具が異常状況に陥った場合にも、適切な対応が可能となります。
- ▶ 個人用保護具および保護メガネを常に着用してください。けがに備え、電動工具の使用状況に応じた粉じんマスク、耐滑性の安全靴、ヘルメット、耳栓などの個人用保護具を着用してください。
- ▶ 作業に適した作業着を着用してください。だぶだぶの衣服や装身具を着用しないでください。髪、衣服、手袋を本体の可動部に近づけないでください。だぶだぶの衣服、装身具、長い髪が可動部に巻き込まれる恐れがあります。
- ▶ 電動工具の不意な始動は避けてください。電動工具をバッテリーに接続する前や持ち上げたり運んだりする前に、電動工具がオフになっていることを確認してください。電動工具のスイッチに指を掛けたまま運んだり、スイッチオンになっている本体を電源に接続すると、事故の原因となる恐れがあります。
- ▶ 電動工具のスイッチを入れる前に、必ず調節キーやレンチを取り外してください。調節キーやレンチが本体の回転部に装着されたままでは、けがの原因となる恐れがあります。
- ▶ 吸じんシステムの接続が可能な場合には、これらのシステムが適切に接続、使用されていることを確認してください。吸じんシステムを利用することにより、粉じん公害を防げます。

電動工具の使用および取扱い

- ▶ 無理のある使用を避けてください。作業用途に適した電動工具を使用してください。適切な電動工具の使用により、能率よく、スムーズかつ安全な作業が行えます。
- ▶ スwitchに支障がある場合には、電動工具を使用しないでください。スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険ですので、修理が必要です。
- ▶ 本体の設定やアクセサリの交換を行う前や本体を保管する前には、バッテリーを取り外してください。この安全処置により、電動工具の不意の始動を防止することができます。
- ▶ 電動工具をご使用にならない場合には、子供の手の届かない場所に保管してください。電動工具に関する知識のない方、本説明書をお読みでない方による本体のご使用は避けてください。未経験者による電動工具の使用は危険です。
- ▶ 電動工具は慎重に手入れしてください。可動部分が引っ掛かりなく正常に作動しているか、電動工具の運転に影響を及ぼす各部分が破損・損傷していないかを確認してください。電動工具を再度ご使用になる前に、損傷部分の修理を依頼してください。発生事故の多くは保守管理の不十分な電動工具の使用が原因となっています。
- ▶ 先端工具は鋭利で汚れのない状態を保ってください。お手入れのゆきとどいた先端工具を使用すると、作業が簡単かつ、スムーズになります。

バッテリー工具の使用および取扱い

- ▶ 電動工具には、必ず指定されたバッテリーを使用してください。指定以外のバッテリーを使用すると、負傷や火災の恐れがあります。
- ▶ バッテリーを充電する場合は、必ずメーカー推奨の充電器を使用してください。特定タイプのバッテリー専用の充電器を他のバッテリーに使用すると、火災の恐れがあります。
- ▶ 使用しないバッテリーの近くに、事務用クリップ、硬貨、キー、釘、ネジ、その他の小さな金属片を置かないでください。電気接点の短絡が起こることがあります。バッテリーの電気接点間が短絡すると、火傷や火災が発生する危険があります。
- ▶ バッテリーを正しく使用しないと、液漏れが発生することがあります。その場合、漏れた液には触れないでください。流出したバッテリー液により、皮膚が刺激を受けたり火傷を負う恐れがあります。誤ってバッテリー液に触れてしまった場合は、水で

洗い流してください。バッテリー液が眼に入った場合は、水で洗い流して医師の診断を受けてください。

2.2 ハンマーに関する安全上の注意

- ▶ 耳栓を着用してください。騒音により、聴覚に悪影響が出る恐れがあります。
- ▶ 本体には一緒に納品された補助ハンドルを使用してください。これ以外のハンドルを使用すると、コントロールを失ってけがをする恐れがあります。
- ▶ 先端工具が隠れた電線に接触する可能性のある作業を行う場合は、必ず本体の絶縁されたグリップを持ってください。通電しているケーブルと接触すると、本体の金属部分にも電圧がかかり、感電の危険があります。

2.3 ロータリーハンマードリルに関するその他の安全上の注意

作業者に関する安全

- ▶ 本製品は、必ず技術的に問題のない状態で使用してください。
- ▶ 本体は決して加工や改造を加えないでください。
- ▶ 本体には一緒に納品された補助ハンドルを使用してください。これ以外のハンドルを使用すると、コントロールを失ってけがをする恐れがあります。
- ▶ 剥がし作業の場合には、作業側と反対の領域を保護してください。剥がれた部分が脱落、落下して他の人を負傷させる危険があります。
- ▶ 本体は、常に両手でグリップを掴んでしっかりと保持してください。グリップは乾燥した清潔な状態を保ってください。
- ▶ 先端工具が隠れた電線に接触する可能性のある作業を行う場合は、必ず本体の絶縁されたグリップを持ってください。通電しているケーブルと接触すると、本体の金属部分にも電圧がかかり、感電の危険があります。
- ▶ 回転部品に触れないでください - 負傷の危険！
- ▶ 本体の使用中は、適切な保護メガネ、保護ヘルメット、耳栓、保護手袋および防じんマスクを着用してください。
- ▶ 保護手袋は先端工具の交換時にも着用してください。先端工具に触れると、切創事故や火傷の原因となることがあります。
- ▶ アイシールドを着用してください。破片が身体の一部、眼などを傷つけることもあります。
- ▶ 作業開始前に、作業場で発生する粉じんの危険有害度を調査してください。公的に承認された保護等級および地域の粉じんに関する規定を満たした工業用集じん機を使用してください。含鉛塗料、特定の種類の木材、コンクリート / 石材、石英を含む岩石、鉱物および金属などの母材から生じた粉じんは、健康を害する恐れがあります。
- ▶ 作業場の良好な換気に注意し、必要に応じてそれぞれの粉じんに適した防じんマスクを着用してください。作業者や近くにいる人が粉じんに触れたり吸い込んだりすると、アレルギー反応や呼吸器疾患を起こす可能性があります。カシヤブナ材などの特定の粉じんは、特に木材処理用の添加剤(クロム塩酸、木材保護剤)が使用されている場合、発ガン性があるとされています。アスベストが含まれる母材は、必ず専門家が取り扱うようにしてください。
- ▶ 休憩を取って、指を動かして血行を良くするように心がけてください。長時間作業の際には、振動により指、手あるいは手首の関節の血管あるいは神経系に障害が発生する可能性があります。

電気に関する安全注意事項

- ▶ 作業を開始する前に、作業領域に埋設された電線、ガス管や水道管がないかを調査してください。誤って電線を損傷すると、本体外側の金属部分により感電事故が発生する可能性があります。

電動工具の慎重な取扱いおよび使用

- ▶ 先端工具がブロックしたら直ちに電動工具をオフにします。本体は側方へとずらすことができます。
- ▶ 電動工具は停止するまで置かないでください。

2.4 安全上の注意

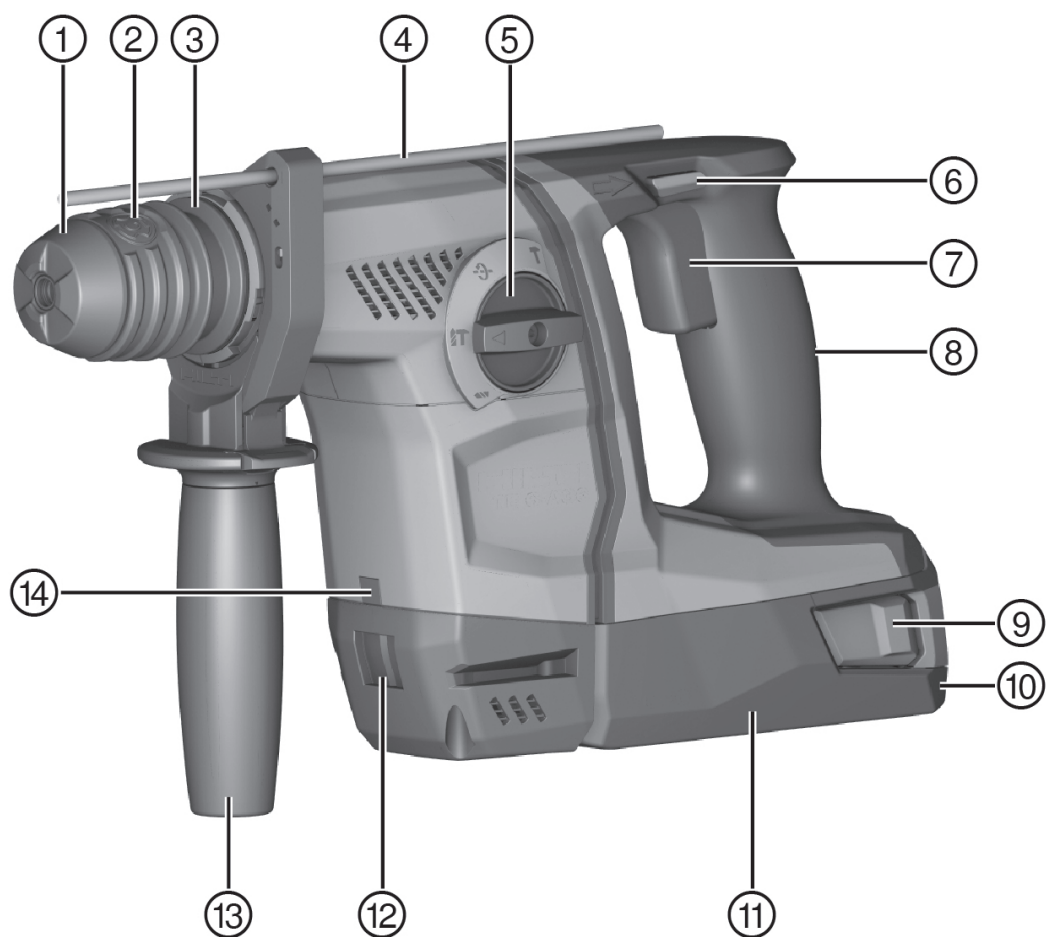
- ▶ 本書および本体に記載されている安全上の注意を遵守してください。
- ▶ 穿孔作業時およびサービス作業時に発生する残留粉じんから顔および気管を保護するため、防じんマスクを使用してください。
- ▶ 集じんモジュールを取り付けていても、必ずHilti ローターリーハンマードリルのサイドハンドルを使用してください。

2.5 バッテリーの慎重な取扱いおよび使用

- ▶ Li-Ion バッテリーの搬送、保管、作動については特別規定を守ってください。
- ▶ バッテリーは高温、直射日光および火気を避けて保管してください。
- ▶ バッテリーを分解したり、挟んだり、80 °C 以上に加熱したり、燃やしたりしないでください。
- ▶ 損傷しているバッテリーは、充電することもそのまま使用し続けることもできません。
- ▶ バッテリーが掴むことのできないほどに熱くなっている場合は、故障している可能性があります。本体を監視可能な火気のない場所に可燃性の資材から十分に距離をとって置き、冷ましてください。バッテリーを冷ました後、Hilti サービスセンターにご連絡ください。

3 製品の説明

3.1 製品概要



- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|
| ① 防じんカバー | ⑧ グリップ |
| ② チャック | ⑨ バッテリーロック解除ボタン |
| ③ 先端工具ロック解除 | ⑩ 充電状態および故障インジケータ
(Li-Ion バッテリー) |
| ④ デプスゲージ | ⑪ バッテリー |
| ⑤ 機能切り替えスイッチ | ⑫ TE DRS-6-A(02) 集じんモジュール
接続部 |
| ⑥ 正回転 / 逆回転切り替えスイッチ
(スイッチオンロック付き) | ⑬ サイドハンドル |
| ⑦ 無段変速スイッチ | ⑭ 作業用照明 |

3.2 正しい使用

本書で説明している製品は、充電式式ロータリーハンマードリルです。本製品は、鋼材、木材および石材への穿孔(回転のみ)、コンクリートおよび石材への打撃穿孔、ならびにネジの取付け、取外し用の工具です。さらに、本製品は石材への軽度のハツリ作業、およびコンクリートへの再加工作業に使用できます。

- ▶ 本製品には、必ず**Hilti** の B 36 シリーズの Li-Ion バッテリーを使用してください。
- ▶ これらのバッテリーには、必ず**Hilti** の C4/36 シリーズの充電器を使用してください。

3.3 Li-Ion バッテリーのインジケータ

Li-Ion バッテリーの充電状態および本体の不具合は、Li-Ion バッテリーのインジケータにより表示されます。Li-Ion バッテリーの充電状態は、2つのバッテリーリリースボタンのいずれかを押し则表示されます。

状態	意味
4 個の LED が点灯。	• 充電状態 : 75 %...100 %
3 個の LED が点灯。	• 充電状態 : 50 %...75 %
2 個の LED が点灯。	• 充電状態 : 25 %...50 %
1 個の LED が点灯。	• 充電状態 : 10 %...25 %
1 個の LED が点滅。	• 充電状態 : < 10 %



注意事項

コントロールスイッチの操作中、およびこのスイッチから指を放してから5秒が経過するまでの間は、充電状態を確認することはできません。バッテリーのインジケータの LED が点滅している場合は、「故障時のヒント」の章の注意事項を確認してください。

3.4 本体標準セット構成

ロータリーハンマードリル、サイドハンドル、デプスゲージ、取扱説明書。
その他の本製品用に許可されたシステム製品については、弊社営業担当または**Hilti** センターにお問い合わせいただくか、あるいはwww.hilti.group でご確認ください。

4 製品仕様

4.1 ロータリーハンマードリル

	TE 6-A36
定格電圧	36 V
重量(EPTA プロシージャ 01/2003 に準拠)	3.7 kg
無負荷回転数	1,050/min

	TE 6-A36
1 回当たりの打撃力(EPTA プロシージャ 05/2009 に準拠)	2.5 J
コンクリート / 石材への穿孔(ハンマードリルビット)	5 mm ... 20 mm
木材への穿孔(木工用ドリルビット)	3 mm ... 20 mm
金属への穿孔(鉄工用ドリルビット)	3 mm ... 13 mm

4.2 騒音および振動値について (EN 60745 準拠)

本説明書に記載されているサウンドプレッシャー値および振動値は、規格に準拠した測定方法に基づいて測定したものです。電動工具を比較するのにご使用いただけます。曝露値の暫定的な予測にも適しています。

記載されているデータは、電動工具の主要な使用方法に対する値です。電動工具を他の用途で使用したり、異なる先端工具を取り付けて使用したり、手入れや保守が十分でないまま使用した場合には、データが異なることがあります。このような相違により、作業時間全体で曝露値が著しく高くなる可能性があります。

曝露値を正確に予測するためには、本体のスイッチをオフにしている時間や、本体が作動していても実際には使用していない時間も考慮しなければなりません。このような相違により、作業時間全体で曝露値が著しく低くなる可能性があります。

作業者を騒音および / または振動による作用から保護するために、他にも安全対策を立ててください(例：電動工具および先端工具の手入れや保守、手を冷やさないようにする、作業手順の編成)。

騒音値

サウンドパワーレベル (L_{WA})	102 dB(A)
サウンドパワーレベルの不確実性 (K_{WA})	3 dB(A)
排出サウンドプレッシャーレベル (L_{pA})	91 dB(A)
サウンドプレッシャーレベルの不確実性 (K_{pA})	3 dB(A)

振動値

コンクリートへの打撃穿孔 ($a_{h, HD}$)	13 m/s ²
金属への穿孔 ($a_{h, D}$)	2.5 m/s ²
不確実性 (K)	1.5 m/s ²

5 ご使用方法

5.1 作業準備



注意

負傷の危険！ 製品は意図せず作動することがあります。

- ▶ 本体の設定、またはアクセサリーの交換の前にバッテリーを取り外してください。

本書および製品に記載されている安全上の注意と警告表示に注意してください。

5.2 バッテリーを装着する



注意

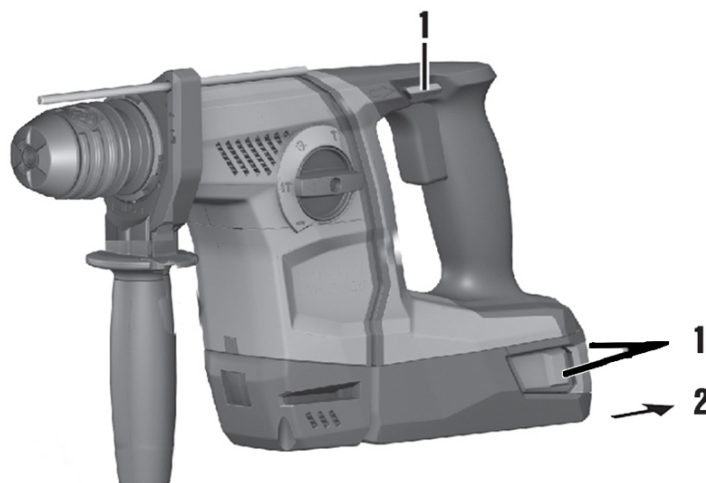
負傷の危険！ ロータリーハンマードリルは意図せず作動することがあります。

- ▶ バッテリーを装着する前に、ロータリーハンマードリルのスイッチがオフになっていて正回転 / 逆回転切り替えスイッチが中立の位置(スイッチオンロック) になっていることを確認してください。



1. ロックの音が聞こえるまでバッテリーを本体ホルダーに装着します。
2. バッテリーがしっかりと装着されていることを確認してください。

5.3 バッテリーを取り外す



1. バッテリーのロック解除ボタンを押します。
2. バッテリーを後方へ引き抜きます。

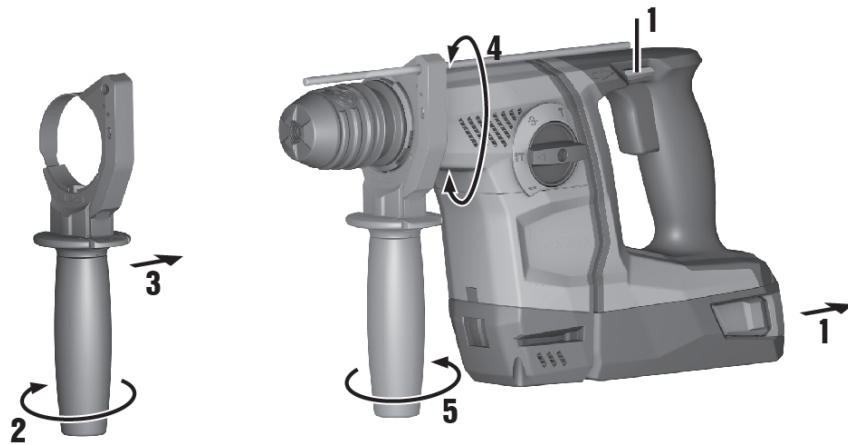
5.4 サイドハンドルを取り付ける



注意

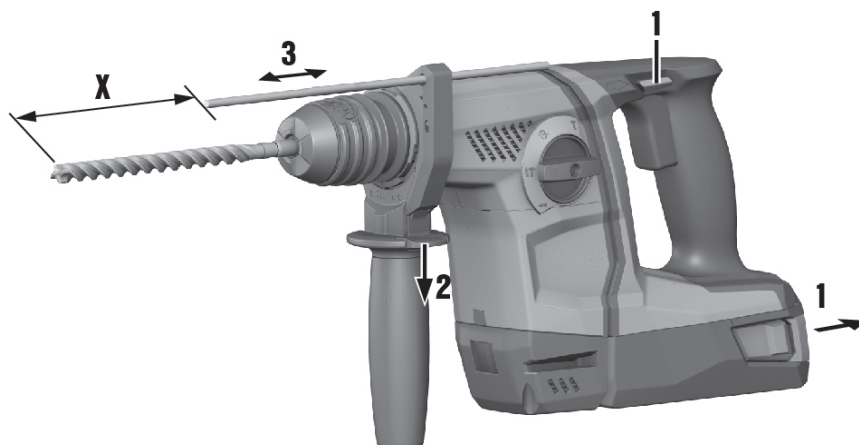
負傷の危険！ ロータリーハンマードリルのコントロールの喪失。

- ▶ サイドハンドルが正しく取り付けられ、しっかりと固定されていることを確認してください。クランピングバンドが本体の専用の溝にはまっていることを確認してください。



1. グリップを回してサイドハンドルのクランピングバンドを緩めます。
2. デプスゲージを前方から取付け用の2個のガイド穴に通します。
3. グリップを回してサイドハンドルのクランピングバンドを張ります。

5.5 デプスゲージを取り付ける / 調整する



- ▶ 必要に応じてデプスゲージを取り付けて調整します。

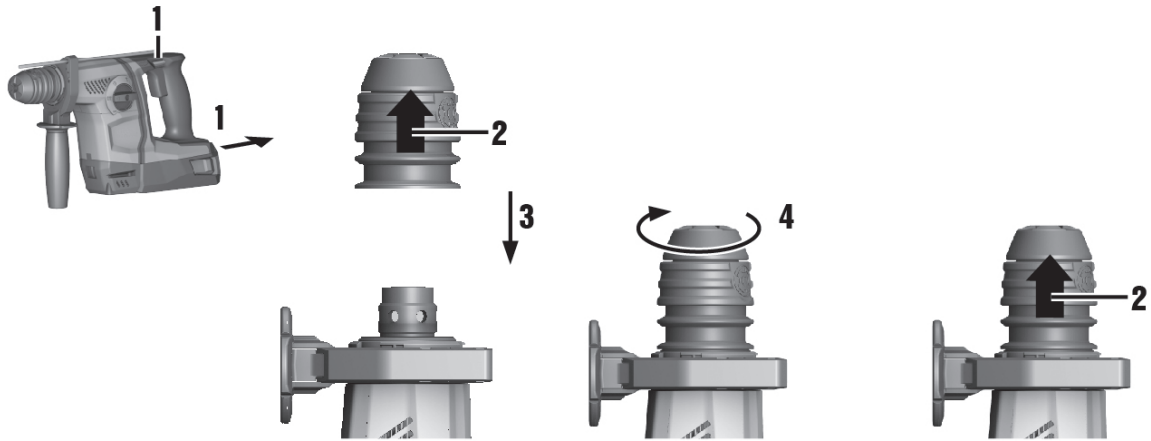
5.6 チャックを取り付ける / 取り外す



注意

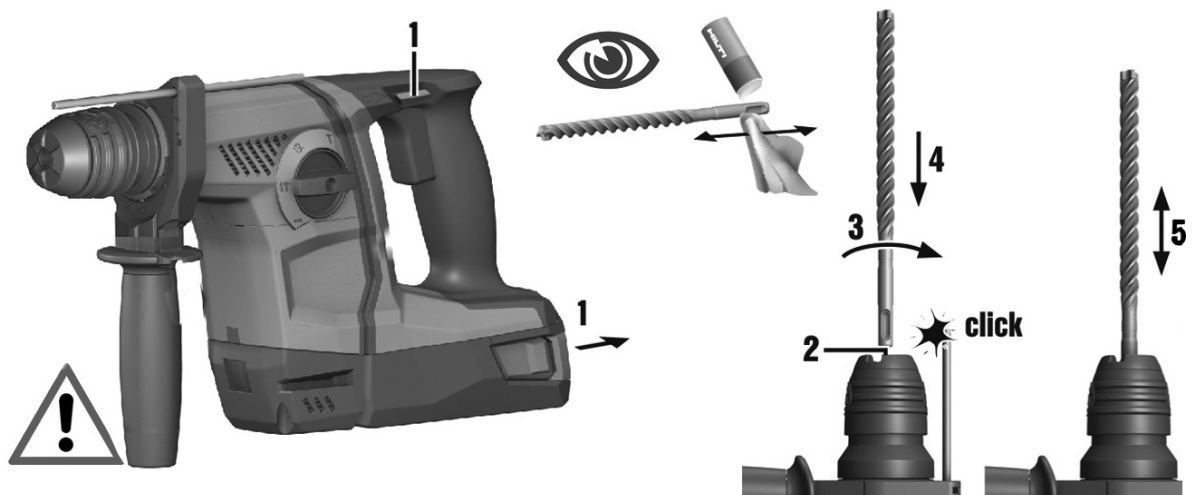
負傷の危険！ 取り付けてあるが使用してはいないデプスゲージにより作業者の作業が妨げられる危険があります。

- ▶ 本体からデプスゲージを取り外します。



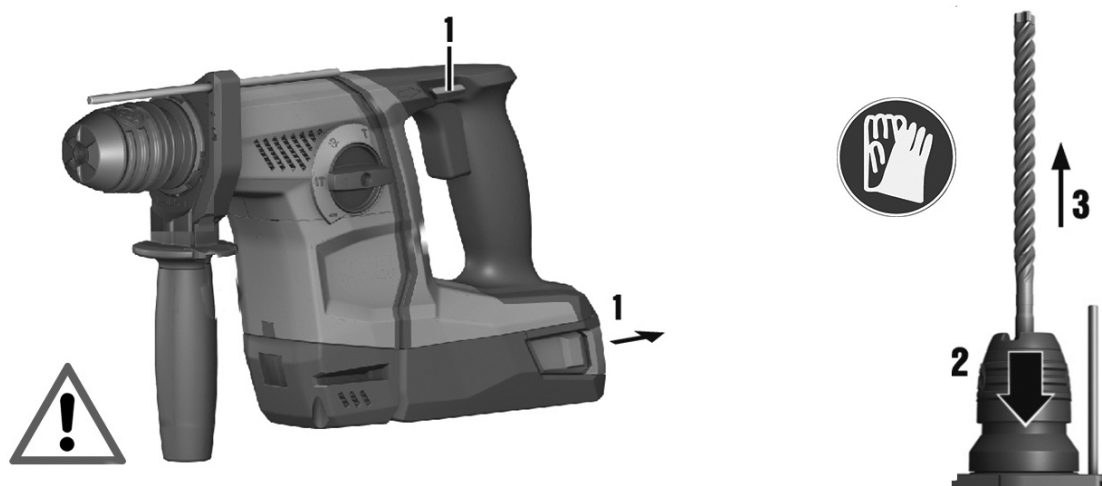
▶ チャックを取り付け / 取り外します。

5.7 先端工具を装着する



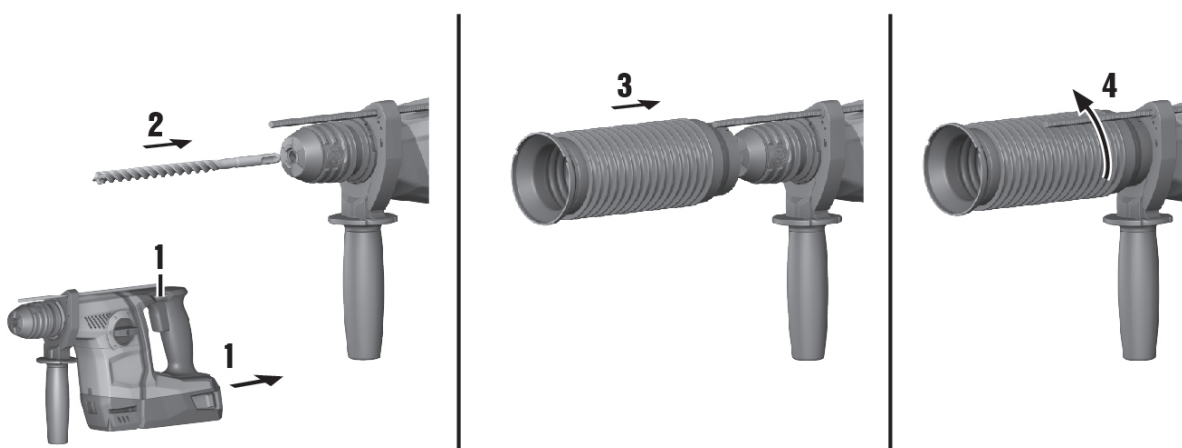
1. 先端工具の接続エンドにグリスを軽く塗布します。
 - ◁ 必ず**Hilti**の純正グリスを使用してください。不適切なグリスを使用すると本体損傷の原因となることがあります。
2. 先端工具をチャックのストップ位置まで差し込み、ロックさせます。
3. 装着後に先端工具を引っ張り、ロックされているか確認します。
 - ◁ 製品は作動可能状態です。

5.8 先端工具を取り外す



- ▶ チャックロックスリーブをストップ位置まで引き戻し、先端工具を取り外します。

5.9 頭上作業



- ▶ 頭上作業用の DCD 集じんリングを取り付けます。

5.10 チゼル角度調整



- ▶ 機能切り替えスイッチを⊕ の位置にします。

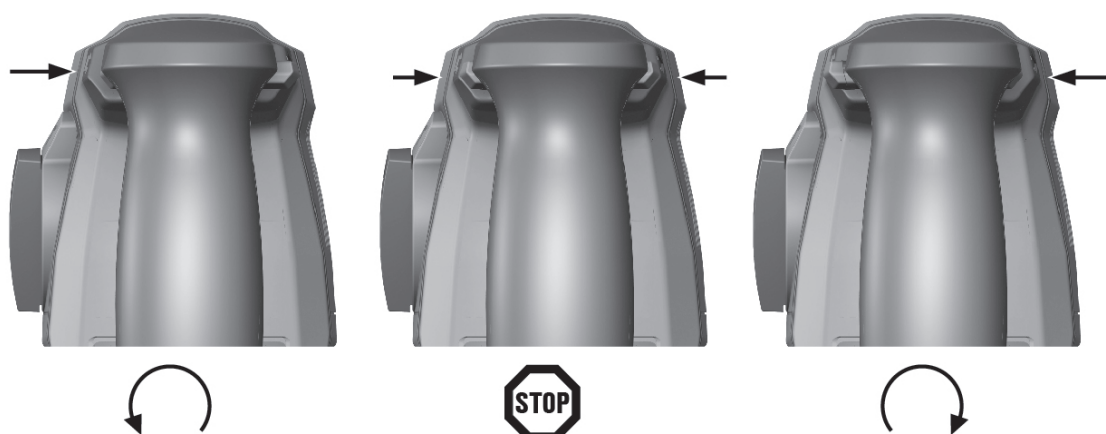
6 作業

6.1 機能切り替えスイッチ



- ▶ 機能切り替えスイッチを希望の作業位置にします。
 - ◁ 作動中に機能切り替えスイッチを操作しないでください。損傷の危険！

6.2 正逆回転機能



- ▶ 正回転 / 逆回転切り替えスイッチを希望の回転方向に設定します。

6.3 回転のみ

- ▶ 機能切り替えスイッチを↔の位置にします。

6.4 回転 + 打撃

- ▶ 機能切り替えスイッチを⚡の位置にします。

6.5 ハツリ作業

- ▶ 機能切り替えスイッチをTの位置にします。
 - ◁ モーターの冷却を最適なものとするには、正回転(穿孔回転方向)を選択してください。

7 手入れと保守

7.1 バッテリー装置の手入れと保守



警告

感電による危険！ バッテリーを装着した状態で手入れや保守作業を行うと、重傷事故や火災の原因となることがあります。

- ▶ 手入れや保守作業の前に必ずバッテリーを取り外してください！

本体の手入れ

- 強固に付着した汚れは慎重に除去してください。
- 通気溝を乾いたブラシで入念に清掃してください。
- ハウジングは必ず軽く湿らせた布で清掃してください。シリコンを含んだ清掃用具はプラスチック部品をいためる可能性があるので使用しないでください。

Li-Ion バッテリーの手入れ

- バッテリーは清潔に保ち、オイルやグリスで汚さないようにしてください。
- ハウジングは必ず軽く湿らせた布で清掃してください。シリコンを含んだ清掃用具はプラスチック部品をいためる可能性があるので使用しないでください。
- 湿気が入り込まないようにしてください。

保守

- 目視確認可能なすべての部品について損傷の有無を、操作エレメントについては問題なく機能することを定期的に点検してください。
- 損傷および / または機能に問題のある場合は、バッテリー装置を使用しないでください。直ちにHilti サービスセンターに修理を依頼してください。
- 手入れおよび保守作業の後には、すべての安全機構を取り付けて機能を点検してください。

7.2 防じんカバーの清掃

- ▶ チャックの防じんカバーは、清潔な乾いた布で定期的に清掃してください。
- ▶ シーリングリップをていねいに拭き、Hilti グリスを薄く塗布します。
- ▶ シーリングリップに損傷がある場合は、防じんカバーを必ず交換してください。

8 搬送および保管

8.1 バッテリー装置の搬送および保管

搬送



注意

搬送時の予期しない始動。バッテリーが装着されていると、搬送時に本体が誤って作動して損傷する可能性があります。

- ▶ 本体は常にバッテリーを装着していない状態で搬送してください。

- ▶ バッテリーを取り外します。
- ▶ 本体とバッテリーは個別に梱包して搬送してください。
- ▶ バッテリーは決して梱包しない状態で搬送しないでください。
- ▶ 本体とバッテリーを長距離にわたって搬送した後は、使用の前に損傷がないかチェックしてください。

保管上の注意事項



注意

故障したバッテリーによる予期しない損傷。バッテリーから流れ出た液体で、本体に損傷を与える可能性があります。

▶ 本体は常にバッテリーを装着していない状態で保管してください。

- ▶ 本体とバッテリーは、できるだけ涼しくて乾燥した場所に保管してください。
- ▶ バッテリーを太陽の直射下、ラジエーターの上、窓際等で保管しないでください。
- ▶ 本体とバッテリーは、子供や権限のない人が手を触れることのないようにして保管してください。
- ▶ 本体とバッテリーを長期間にわたって保管した後は、使用前に損傷がないかチェックしてください。

9 故障時のヒント

この表に記載されていない、あるいはご自身で解消することのできない故障が発生した場合には、弊社営業担当またはHilti サービスセンターにご連絡ください。

9.1 ロータリーハンマードリルは作動不能状態

故障	考えられる原因	解決策
バッテリーの LED が名にも表示しない。	バッテリーが完全に装着されていない。	▶ バッテリーを「カチッカチツ」と音がするまでロックする。
	バッテリーが放電している。	▶ バッテリーを交換し、空のバッテリーを充電する。
	バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎる。	▶ バッテリーを冷ますか、あるいはバッテリーを室内温度にする。
バッテリーの 1 個の LED が点滅。	バッテリーが放電している。	▶ バッテリーを交換し、空のバッテリーを充電する。
	バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎる。	▶ バッテリーを冷ますか、あるいはバッテリーを室内温度にする。
バッテリーの 4 個の LED が点滅。	ロータリーハンマードリルの短時間の過負荷。	▶ コントロールスイッチから指を放し、改めてコントロールスイッチを操作する。

9.2 ロータリーハンマードリルは作動可能状態

故障	考えられる原因	解決策
打撃がない。	ロータリーハンマードリルの温度が低すぎる。	▶ ロータリーハンマードリルを母材に接触させて、アイドル回転させる。打撃機構が始動するまでこれを繰り返す。
	機能切り替えスイッチが「回転のみ」に設定されている。	▶ 機能切り替えスイッチを「回転 + 打撃」にする。

故障	考えられる原因	解決策
コントロールスイッチが押せない、あるいは動かない。	正回転 / 逆回転切り替えスイッチが中立位置。	▶ 正回転 / 逆回転切り替えスイッチを右または左へ押す。
本体スピンドルが回転しない。	ロータリーハンマードリル本体の電子回路の作動温度が許容範囲を越えている。	▶ 本体を冷ます。
	バッテリーが放電している。	▶ バッテリーを交換し、空のバッテリーを充電する。
	機能切り替えスイッチがロックされていない、または「回転のみ」⇄または「回転 + 打撃」⇄の位置になっている。	▶ 機能切り替えスイッチを「回転のみ」⇄または「回転 + 打撃」⇄の位置にする。
ロータリーハンマードリルが自動的にオフになる。	過負荷保護機構(スピードレギュレーター) が作動している。	▶ コントロールスイッチから指を放す。ロータリーハンマードリルを冷ます。コントロールスイッチを改めて操作する。負荷を低減する。
バッテリーの消耗が通常よりも早い。	周囲温度が低すぎる。	▶ バッテリーをゆっくり室温まで暖める。
バッテリーが「カチッカチツ」と音がするまでロックされない。	バッテリーのロックノッチが汚れている。	▶ ロックノッチを清掃してバッテリーを改めてロックする。
ロータリーハンマードリルあるいはバッテリーが熱くなる。	電氣的故障。	▶ ロータリーハンマードリルを直ちにオフにする。バッテリーを取り外して点検する。バッテリーを冷ます。Hilti サービスセンターに連絡する。
	ロータリーハンマードリルの過負荷。	▶ より出力の大きな装置を選択する。
先端工具をロックから取り出せない。	チャックが完全に引き戻されていない。	▶ チャックロックスリーブをストップ位置まで引き戻し、先端工具を取り外す。
先端工具が切削しない。	ロータリーハンマードリルが逆回転になっている。	▶ 正回転 / 逆回転切り替えスイッチを正回転にする。
	機能切り替えスイッチが「回転のみ」⇄に設定されている。	▶ 機能切り替えスイッチを「回転 + 打撃」⇄にする。

10 オプションのアクセサリー

10.1 DCD 集じんリング

DCD 集じんリングはHilti ロータリーハンマードリルのアクセサリーとして使用するものです。これは頭上作業で発生する粉じんの大部分を集め、迅速かつ簡単にロータリーハンマードリルに固定することができます。

10.2 TE DRS-6-A / TE DRS-6-A OSHA 集じんモジュール

TE DRS-6-A 集じんモジュールは、Hilti のTE 6-A36 ロータリーハンマードリル用のアクセサリとして使用するものです。この集じんモジュールは発生する粉じんの大部分を集め、迅速かつ簡単にロータリーハンマードリルに固定することができます。集じんモジュールにはサクシオンファンが内蔵されています。このサクシオンファンは専用モーターから動力を得ます。ロータリーハンマードリルをオンにすると、モジュールはロータリーハンマードリルのバッテリーから動力のための電流を得ます。この集じんモジュールは、金属や木材への作業には適していません。

条件: TE DRS-6-A OSHA

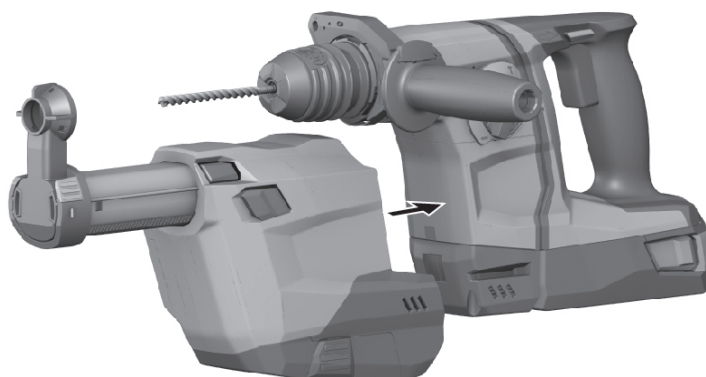
TE DRS-6-A OSHA はOSHA 1926.1153 基準を満たしています (Table 1)。フィルター清掃メカニズムを装備しています。

10.2.1 集じんモジュールを取り付ける



注意事項

取付けの前に、固定ポイントおよびロータリーハンマードリルと集じんモジュールの電気接続部に埃がなく、スムーズに動くことを確認してください。



1. 集じんモジュールに損傷がないか点検してください。
2. テレスコープがスムーズに動くか点検してください。
3. ロータリーハンマードリルの正回転 / 逆回転切り替えスイッチを中立の位置にします。
4. デプスゲージをサイドハンドルから取り外します。
5. 集じんモジュールを、ロックされるまで前方から本体へとスライドさせます。
6. 取付けの後、集じんモジュールが正しくロックされていることをチェックしてください。

10.2.2 集じんモジュールを使用しての穿孔作業

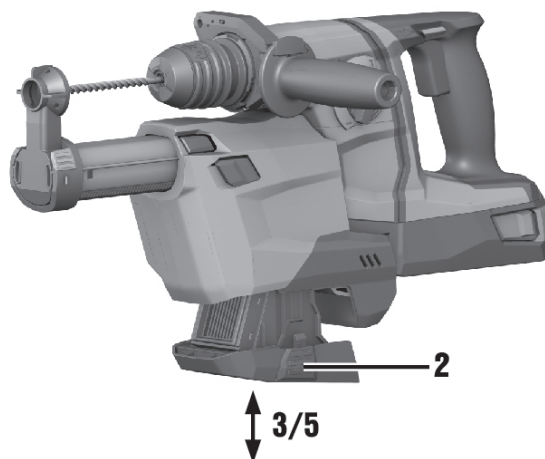
1. 集じんモジュールを始動させるには、ロータリーハンマードリルの制御ボタンを押します。
2. 吸引能力が最大になるまで、制御ボタンを押し続けてください。
3. サクシオンヘッドを母材に垂直に接触させます。
4. 穴を穿孔し、できるだけ多くの粉じんを吸引するよう製品をゆっくり穿孔穴から引き抜きます。

10.2.3 ダストコンテナを空にする



注意事項

ダストコンテナが満杯、あるいはフィルターが目詰まりしていると、粉じんの発生が増える原因となるので、ダストコンテナを定期的に空にする必要があります。8...10個の穿孔穴(16 mm x 50 mm、5/8 インチ x 2 インチ)を加工した後は、ダストコンテナを空にしてください。粉じんの発生を最少に抑えるため、粉じんは密閉された容器に集めてください。



1. 本体を水平に保ち、短時間作動させます。
 - ◁ これで集じんモジュールに溜まっていた粉じんの残りがダストコンテナに吸引されます。
2. ダストコンテナのロック解除ボタンを押して、押した状態を保ちます。
3. ダストコンテナを集じんモジュールから下方へ引き抜きます。
4. ダストコンテナを空にします。
 - ▽ フィルターが汚れている。
 - ▶ フィルターを交換してください。
 - ◁ フィルターは汚れていない。
5. 空のダストコンテナを下方から集じんモジュールにはめ込み、ロックします。

10.2.4 TE-DRS-OSHA フィルターを清掃する



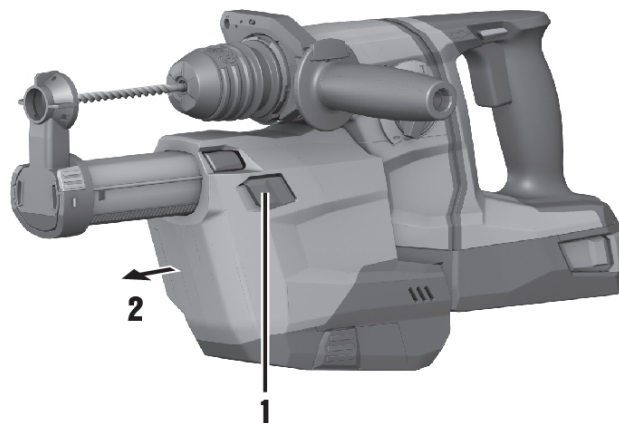
注意事項

5個の穿孔穴(16 mm x 50 mm、1/2 インチ x 3 インチ)を加工した後は、フィルターを清掃してください。



- ▶ 吸引能力が低下したなら、その都度清掃メカニズムをクリック音が聞こえるまで5回前後に押ししてください。

10.2.5 集じんモジュールを取り外す



1. ロータリーハンマードリルの正回転 / 逆回転切り替えスイッチを中立の位置にします。
2. DRS ロック解除ボタンを押して、その状態を保ちます。
3. 集じんモジュールを本体から前方へ引き抜きます。


11 廃棄



警告

負傷の危険。誤った廃棄による危険があります。

- ▶ 機器を不適切に廃棄すると、以下のような問題が発生する恐れがあります：プラスチック部品を燃やすと毒性のガスが発生し、人体に悪影響を及ぼすことがあります。電池は損傷したりあるいは激しく加熱されると爆発し、毒害、火傷、腐食または環境汚染の危険があります。廃棄について十分な注意を払わないと、権限のない者が装備を誤った方法で使用する可能性があります。このような場合、ご自身または第三者が重傷を負ったり環境を汚染する危険があります。
- ▶ 故障したバッテリーはただちに廃棄してください。廃棄したバッテリーは子供の手の届かない所に置いてください。バッテリーを分解したり、燃やしたりしないでください。
- ▶ バッテリーは各国の法律規制に従って廃棄するか、使わなくなったバッテリーはHiltiへ返送してください。

 **Hilti** 製品の大部分の部品はリサイクル可能です。リサイクル前にそれぞれの部品は分別して回収されなければなりません。多くの国で**Hilti** は、古い電動工具をリサイクルのために回収しています。詳細については弊社営業担当または**Hilti** 代理店・販売店にお尋ねください。



▶ 本体を一般ゴミとして廃棄してはなりません。

12 中国版 RoHS (有害物質使用制限に関するガイドライン)

下記のリンクより、有害物質を記載した表を確認できます：qr.hilti.com/r4694033。
本書の最終ページに RoHS 表にリンクした QR コードがあります。

13 メーカー保証

▶ 保証条件に関するご質問は、最寄りの**Hilti** 代理店・販売店までお問い合わせください。



Hilti Aktiengesellschaft
Feldkircherstraße 100
9494 Schaan | Liechtenstein

TE 6-A36 (04)

[2016]

2006/42/EC

EN ISO 12100

2014/30/EU

EN 60745-1

2011/65/EU

EN 60745-2-6

2006/66/EU

Schaan, 01/2016

Paolo Luccini

Head of BA Quality and Process Management
BA Electric Tools & Accessories

Tassilo Deinzer

Executive Vice President
BU Power Tools & Accessories





Hilti Corporation

LI-9494 Schaan

Tel.: +423 / 234 21 11

Fax: +423 / 234 29 65

www.hilti.group

Hilti = registered trademark of Hilti Corp., Schaan



20170811